

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

地球の危機と気候正義のために、私たちができること

第3回 地球沸騰化・脱炭素の対策：省エネ・節電と再生可能エネルギー

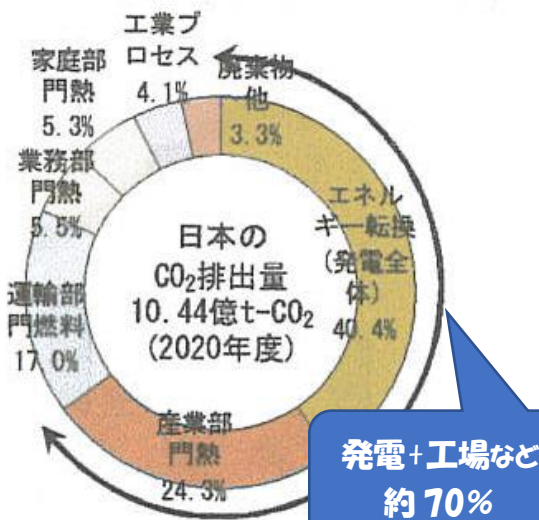
はあもにい 22年11月号・23年5月号と2回で『地球の危機と気候正義のために、私たちができること』の連載してきました。私たち人類が二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスを大量に排出してきたために、様々な災害を起こしています。**7月27日国連総長が、ついに「気球温暖化ではなく、地球沸騰化の時代が到来した」と、対策強化を求めました。**平均気温上昇を1.5℃までに抑える目標に私たちも今すぐに取り組まなければいけません。今回は、脱炭素対策として私たちが今日からできる省エネアクションについて考えてみたいと思います。

1) 省エネ・節電対策

2020年度調査

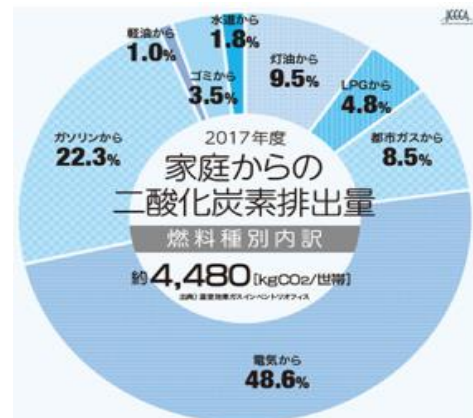
日本のCO₂排出割合

火力発電は
40%、
原子力は
25%しか
電気になっ
ておらず、
残りは熱と
して捨てて
います。



発電時の排出を発電所の排出とした場合

左図のように、日本のCO₂排出の約7割を発電所と産業部門が占めています。よって、電力をどう作るか、工場やオフィスなど産業部門の省エネをどうするかが大きな課題となります。また、運輸部門では、乗用車から鉄道・バスの利用で60~90%減ります。乗用車を電気自動車に転換すれば、70~80%の削減となります。その上で家庭でも省エネの工夫が必要です。当然電気代を安くすることもできます。



全国地球温暖化防止活動センターHPより

家庭でのCO₂排出量は右図のように電気が半分です。つまり家庭で節電することがCO₂排出抑制につながります。買い替えによる削減と使い方の削減があります。

自宅の消費電力量(kWh)を把握し、目標をたてよう!

因みに、

4LDK暮らしの筆者は、冬は250kWhで、少ない月は150kWhの消費量です。

- ① **買い替え**:消費の多い家電は、**冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン**です。もしこれらが古い家電であれば、新しい物に買い替えることによりかなり節電になります。
「**しんきゅうさん**」というナビゲーションをパソコンかスマホでアクセスすると買い替えによる削減額が判ります。やってみてください!
- ② **使い方削減**は、エアコン温度を 1 度変更、コンセントを抜き待機電力削減や、炊飯器・ポットの保温機能は控える、洗濯まとめ洗い、便座の蓋を閉めるなどでおおよそ 1 ヶ月の節電を約 50kWh 抑えることができます。しかし、エアコンは有意義に使って、熱中症予防は是非お願いします。
- ③ **断熱建築**:日本の住宅は窓や壁、床や天井の断熱性が低く、高額の光熱費が必要です。ドイツやアメリカでは高断熱な窓などが義務化されており、低所得者住宅でも改修がしやすくなっています。政府も 25 年二重サッシなどの義務化を予定し、現在でも改修事業に大きな予算をつけています。信頼できる改修事業者に補助金について相談してみるのもいいと思います。改修が無理な方は、カーテンなどで熱が逃げない工夫をしましょう。

2) 地域で再生エネルギーを増やす 2 つの対策

- ① **家庭での創エネ** 自宅に太陽光発電を設備し、蓄電池などで蓄えることが出来ます。自宅に余裕がない場合、静岡県では本年より共同購入事業なども実施しています。

「**みんなのあうち太陽光**」など検索してみてください。

- ② **再生エネルギーの小売り電気事業者へ切り替える**

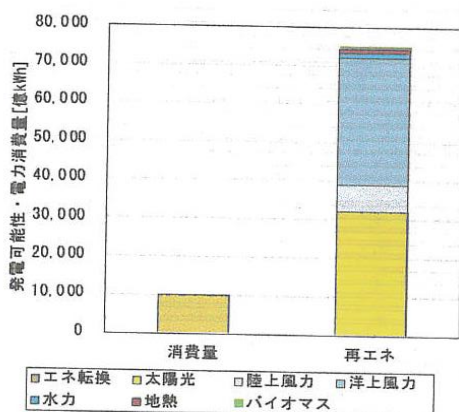
2016 年より、日本でも電力小売り全面自由化によって、一般家庭も電力会社を選べるようになりました。自然エネルギー供給を目指す電力会社も、各地に次々と現れています。

「市民や地域が主体となってつくられた自然エネルギーの電力を選びたい」という市民・消費者の声を、たくさん集めて世論として大きく広げ、政府に届けることも大切です。

宮城民医連の医師で、地域で電気事業者を立ち上げた方もいらっしゃいます。

「**パワーシフトキャンペーン**」を検索すると再生可能エネルギーを重視するポイントとそれに合致する電力会社 41 社を紹介しています。実は、筆者も昨年春よりその一つの会社に変更しています。メガソーラービジネスなど利益だけを目的とした企業など問題もありますので、切り替えの際には十分な検討をお願いします。

全国の脱炭素対策
電力消費と再生可能エネルギー電力



3) 再エネで必要な電力は充分!

電気危機が叫ばれ、電気が足りなくなるから原発をとの情報が流されています。しかし、左図のように、環境省「自治体再エネ情報カルテ」より産総研の歌川学氏が計算すると、消費電力の 7 倍以上再生エネルギー電力が作られる可能性があります。

同様に静岡県では、消費電力の約 2 倍が再エネで作られる計算となります。

多くの方が、再エネに切り替えれば、充分な電力が用意できることとなります。

文責 吉岡優子

私たちがすぐできる事

- まず、自宅の消費電力量(kWh)を把握、月ごとに比較し、目標を立てよう。
- 省エネ・節電するためには、新しい情報を手に入れる必要があります。
気候危機を他人事にせず、関心をもって、様々な情報を評価し、取り組んでみましょう。
- 再生エネルギーの小売電気事業者について、検討しましょう。